

Windows 操作機能とゲームについて

1. はじめに

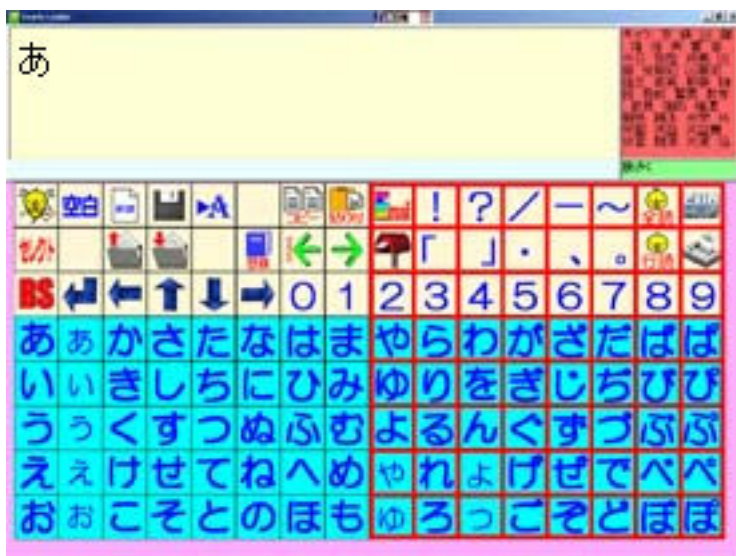
HeartyLadder では、Version 5.00 から Windows 操作機能を装備しました。
また 6.00 からは操作の練習になればと思い簡単な神経衰弱ゲームを載せました。
Windows 操作機能というのはデスクトップや HeartyLadder 以外のアプリケーションを操作する機能です。100%のアプリケーションを操作できるわけではありませんが、通常使うものはほとんど大丈夫だと思います。

2. ゲームをするには



このボタンを押すと開始されます。

ゲームにはカードの枚数の多さで4種類あります。

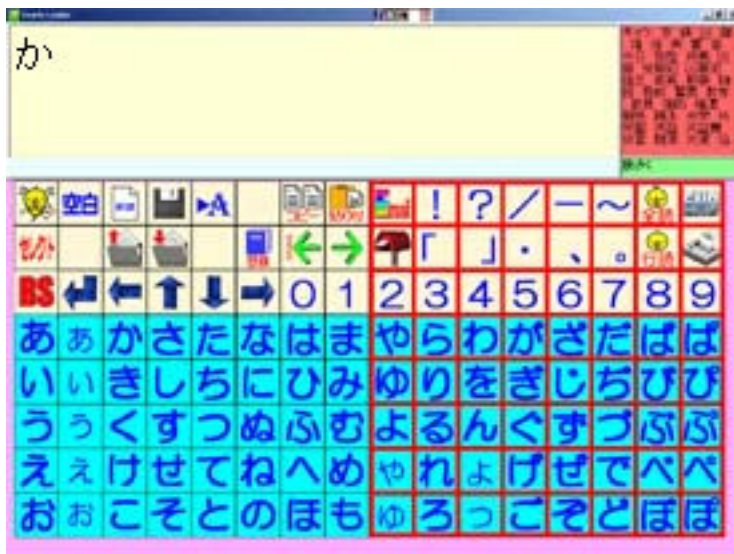


HeartyLadder のメインの画面に「あ」と入力して



このボタンを押すと一番少ない枚数のゲームが開始されます。

どのように、「い」「う」「え」でカードの枚数を変えられます。



「お」「か」は、ワンボタンで曲を演奏できる、簡単なゲームになっています。

「お」はMIDI音源を利用しています。音はいいのですが、ボタンを押した後、わずかなタイムラグがあります。

「か」はwavデータでピアノの音を鳴らします。タイムラグはほとんどありません。

まず、曲の一覧が表示されるので、そこから好きな曲を選びます。

すると5線譜に音符と歌詞が表示されます。そこでボタンを押すとそれにあわせてその音階の音が鳴ります。音階は自動ですが、テンポは自分で取ってください。長く押すと長くなります。

終了するときは約20秒、何もしないで置いておいてください。曲一覧が出ますので「キャンセル」で終了できます。

3. Windows 操作機能を使うには

Windows 操作機能はマウスのボタンでは利用できません。ジョイスティックのボタンを利用します。市販の『できマウス』を利用するか私達『パソボラこころのかけはし』が提供する見本『9ボタン用接続ボックス』を利用します。自分でジョイパッドを改造しても可能です。又サウンドクリックではそのまま利用できます。

環境設定の『その他』にある『Windows 操作』にチェックを入れておいてください。

そしてHeartyLadderのメインの画面に「ういん」と入力して



このボタンを押すと開始されます。

① デフォルトの設定

「ういん」と入れずにこのボタンで Windows 操作を使いたいときは HeartyLadder のメインの画面に「設定」と入力して



このボタンを押すと選べますので、そこで Windows 操作を選ぶとそれがデフォルトになります。

AgainClicker というソフトを立ち上げておくと、その機能が HeartyLadder で利用できます。


AgainClicker は、1 度クリックしたところを、キーボードで素早くクリックできるソフトです。HeartyLadder 専用の機能があり、連動して使えるようにしています。

4. 操作方法

Windows 操作を開始すると HeartyLadder の画面は消えて Windows 操作パネルが出ます。これを HeartyLadder の選択と同じ要領で選んでいって、各操作を指定します。

② マウスと Shift キー、Control キー、Alt キーの状態

Windows 操作パネルには現在の状態が表示されています。



Shift キー、Control キー、Alt キーの押下状況が表示されます。押下されているキーは各頭文字で表示され、ロック状態は赤で表示されます。

マウスのボタンの状態を表示します。ボタンが押されているとそのボタンのところが赤くなります。マウスの上の A と M はマウスの移動方法です。パネルの矢印を押したとき、A のときは、その瞬間から『停止』を押すまでのアイダ、自動で動いていきます M の時はあらかじめ指定していたドット分だけ動きます。

③ パネルの機能

■ TOP パネル

このパネルは WINDOWS 操作を実行したときに最初に現れるパネルです。

このパネルでは、パネルの切替や位置変更、基本的なマウスの操作ができます。



パネルの切替をします。パネルにはマウスパネル、キーボードパネル、テンキーパネル、カナキーパネル、特殊キーパネルなどがあります。

1つ前の処理を繰り返します。同じところを何度もクリックしたいときや、同じキーを何度も押したいときに便利です。

パネルを次のすみに移動します。他の window やメニューで隠れてこのパネルが見えなくなったとき、これを何度か押してみてください。



ダイレクトマウス

画面を分割して、クリックする位置などを指定します。全画面とアクティブのウィンドウの2つがあります。詳しくは後を参照。

現在マウスカーソルのある位置でマウスのボタンの操作をします。クリックやダブルクリックができます。

HeartyLadder の50音パネルで文章を入力し、「実行」で現在の位置にその文章を貼り付けます。直接入力より、学習機能や連続選択機能が使えるので効率がいいと思います。

パネルをそれぞれの4隅に移動します。

Windows 操作、機能を終了し HeartyLadder の画面に戻ります。

■ キーボードパネル

TOPパネルで、キーボードパネルを選んだらこのパネルに変わります。

ここではだいたいキーボードの操作をすることができます。

ファンクションキーや print screen キーなどは別のパネルに割り当てています。

1つ前の処理を繰り返します。同じところを何度もクリックしたいときや、同じキーを何度も押したいときに便利です。

TOPパネルに戻ります。

ダイレクトマウス
画面を分割して、クリックする位置などを指定します。全画面とアクティブのウィンドウの2つがあります。詳しくは後を参照。

それぞれの文字が入力されます。

それぞれのキーが入力されます。

HeartyLadder の50音パネルで文章を入力し、「実行」で現在の位置にその文章を貼り付けます。直接入力より、学習機能や連続選択機能が使えるので効率がいいと思います。

クリップボードの内容をペーストします。
(CTRL+V)

Shift キー、Control キー、ALT キーです。
1度押すと、押された状態になり、次のキーが押された後に解除されます。2度続けて押すと、もう一度押されるまで解除されません。

■ かなキーボードパネル

日本語を入力するときに便利なパネルです。HeartyLadder の 50 音パネルと同じ配列にするために大きいパネルと小さいパネルを用意しています。

各ボタンの意味は先のキーボードパネルと同じなのでわかると思います。

TOP	繰返	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	↑	←	→	—
		F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10	↓	↑	↓	マウス
SFT	CTRL	スペース	ESC	TAB	無変換	変換	←	BS	DEL	⏏	、	。	あ		
あ	あ	かさ	たな	はま	やら	わが	ざだ	ばば							
い	い	きし	ちに	ひみ	ゆり	をぎ	じち	びび							
う	う	くす	つぬ	ふむ	よる	んぐ	ずづ	ぶぶ							
え	え	けせ	てね	へめ	やれ	よげ	ぜで	べべ							
お	お	こそ	との	ほも	ゆる	ろっ	こそ	どぼ							

TOP	繰返	変換	F7	F8	F9	や	わ
←	→	↓	TAB	—	、	ゆ	を
↑	↓	←	ESC	。	よ	ん	
あ	か	さ	た	な	は	ま	ら
い	き	し	ち	に	ひ	み	り
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	る
え	け	せ	て	ね	へ	め	れ
お	こ	そ	と	の	ほ	も	ろ

「が」や「ば」、「っ」などの文字を入力するときに、使います。ただし、このボタンは目的の文字を入れた直後にのみ有効です。BSなどの後には使えません。

■ 特殊キーパネル、テンキーパネル

特別なときにしか使わないキーとテンキーをまとめたパネルです。

各ボタンの意味はキーボードパネルと同じです。

TOP	繰返			マウス	マウス
PRN	SCRL	PSE			
F1	F2	F3	F4	F5	F6
F7	F8	F9	F10	F11	F12
半角	かな	CAPS	END	HOME	INS
SFT	CTRL	ALT	⏏	⏏	あ

TOP	繰返	マウス	
TAB	/	*	—
7	8	9	+
4	5	6	←
1	2	3	
0	.	←	→
BS	DEL	↑	↓
SFT	CTRL		あ

Alt を押して「半角」で日本語入力モードにできます。

Windows ボタンです。

メニュー (右クリック) ボタンです。

■ マウスパネル

マウスの操作をするパネルです。

矢印の方向にカーソルを動かします。自動モード（マウスの状態に「A」と表示）の時は、「停止」が押されるまで自動に動きます。それ以外の時は指定したドット分1回動きます。

マウスの移動方法を切り替えます。ここを押すと、数字が書かれたパネルが

自動 加速	1	2
5	8	10
16	20	32
以降は 自動 等速度	1	2
5	8	10
16	20	32

出ます。

数字は1回に移動するドット数です。下半分は等速度移動になります。



AgainClicker

一度クリック（ドラッグを離）したところを記憶しておき、そこをすぐにクリックしたり、マウスカーソルを移動したりできます。

ここを押すと画面に過去にクリックした場所がマークで表示され、それに知る差あれた文字を選ぶと、そこにカーソルが移動し、クリックされます。

別途 AgainClicker というソフトをインストールしておく必要があります。

現在マウスカーソルのある位置でマウスのボタンの操作をします。クリックやダブルクリック、ドラッグができます。

「オン/オフ」というのは、ボタンが離されているときに押すとオンになり、押された状態に押すとオフになります。これを利用してドラッグができます。



現在マウスカーソルの周辺を拡大してダイレクトマウスになります。

ダイレクトマウス


画面を分割して、クリックする位置などを指定します。全画面とアクティブのウィンドウの2つがあります。詳しくは後を参照。

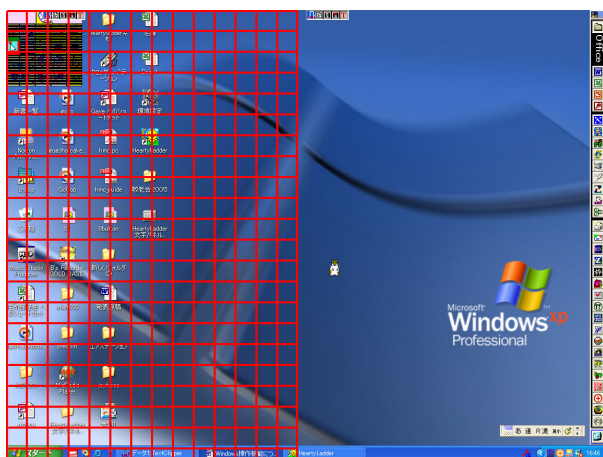
④ ダイレクトマウス

これは HeartyLadder のパネルでの選択と同じ方法でマウスの位置を指定するものです。これにより、スムーズに且つ確実にマウスのカーソルを意図する場所に移動させることができます。

ダイレクトマウスには全画面を対象にしたものと、アクティブな Window を対象にしたものの2つあります。後者の場合、最初の範囲が狭いので、より早く位置の指定ができます。

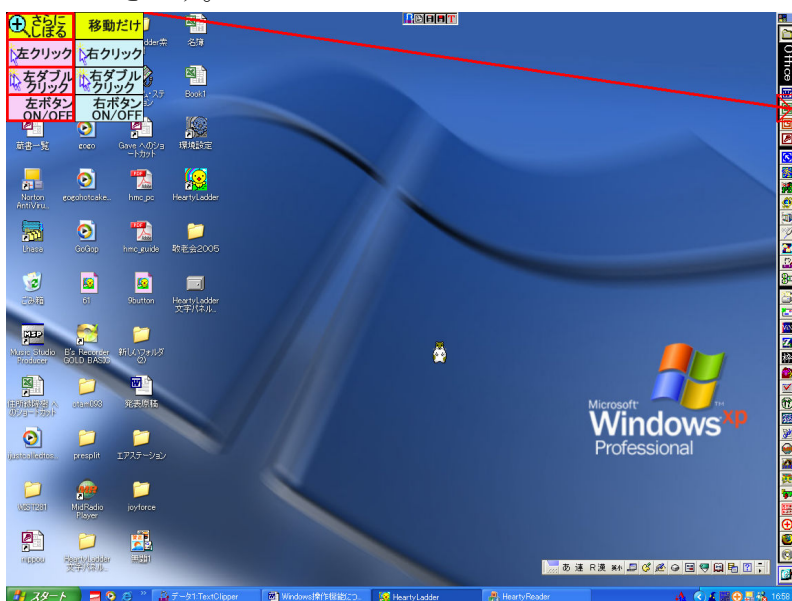
■ 操作手順

ダイレクトマウスを押すと、画面全体が分割され HeartyLadder の50音表と同じように選択待ちになります。下図はブリンクモードの場合です。



ここでマウスの操作をしたい部分を選択します。ブリンクモードでは絞り込んでいきます。

選択が完了したらそこにマークがつきます。





左図のように正方形の中に×があるマークで、この×の交点がクリックなどをするポイントになります。

このマークが表示されると同時に、メニューも表示されます（右図）。先のマークの交点が目的のボタンなどの上にある場合は、そこを「左クリック」するなどこのメニューから選んでください。

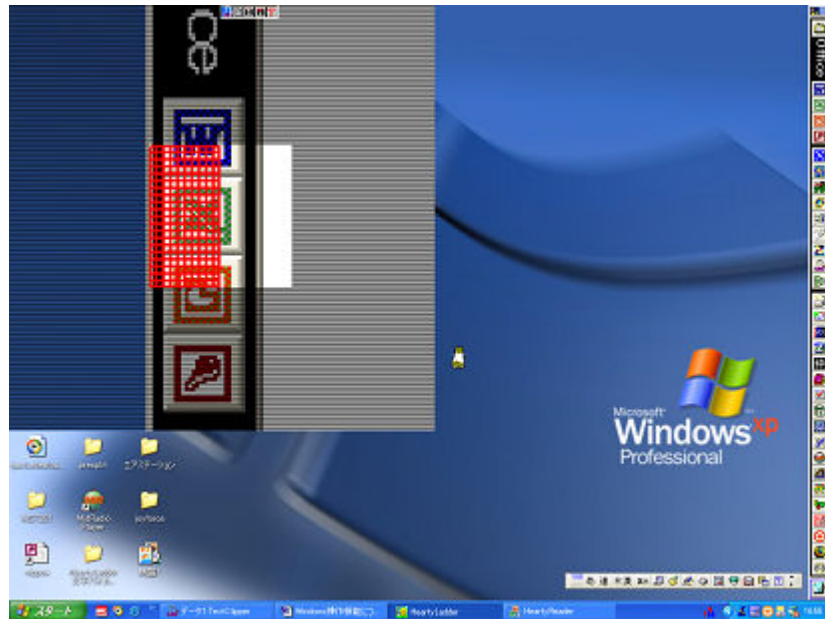
さらにしぼる	移動だけ
左クリック	右クリック
左ダブルクリック	右ダブルクリック
左ボタン ON/OFF	右ボタン ON/OFF

「移動だけ」というのはそこにマウスカースルを移動するだけです。

【ON/OFF】というのはボタンが離されているときに押すとオンになり、押された状態に押すとオフになります。これを利用してドラッグができます。

マークの交点が目的のボタンなどの上になくて、正方形の中にはある場合、メニューの「さらにしぼる」を選びます、

すると、その正方形の部分が拡大され、更に細かくポイントを指定できるようになります（2ドットまで）。
選択方法はこれまでと同じです。



指定したら又メニューが出ます。そこからやりたい処理を選んでください。



このボタンは現在アクティブになっている Window が選択の対象になります。操作手順はこれまでと同じです。

しぼりなおし	移動だけ
左クリック	右クリック
左ダブルクリック	右ダブルクリック
左ボタン ON/OFF	右ボタン ON/OFF

5. Windows 操作ボタンのデフォルト



このボタンを押したとき、デフォルトで Windows 操作を使いたい場合は、環境設定のその他のページにゲームにするか Windows 操作にするかを選ぶところがあるのでそこで選んでください。